

広報

2023年3月
VOL.325

よろん

ひとの動き

【令和5年1月末時点】

人口 5,077人

男：2,491人

女：2,586人

世帯数 2,622世帯



特集 町制60周年特集

山町長 × 田畑香織さん

島の未来をむねがったい

【表紙の写真】

町制施行された昭和38年頃には、子どもから大人まで大勢の町民が与論十五夜踊りを観に出掛けていた。（地主・琴平神社にて。和田州生さん撮影）

町制
60周年
特集

島の未来に向かって、
むぬがったい

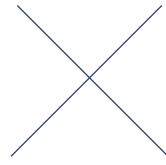
や
ま

山

も
と
む
ね

元宗

町長



た
ば
た

田畑香織

か
お
り
さ
ん



【田畑香織さん プロフィール】

昭和58年（1983年）生まれ
株式会社まなび島の代表取締役社
長。与論町内にて学習塾「まなび
島」、つむぎ訪問看護ステーショ
ンを運営。

与論ともしびグループ及び、地域
女性団体の会長を務める。与論町
海洋教育推進協議会の事務局員と
しても活躍中。

【山元宗町長プロフィール】

昭和19年（1948年）生まれ
昭和41年 山梨県都留文科大学卒業後、
与論小学校に赴任
平成7年 奄美市節田小学校校長、
与論小学校などで校長を
歴任する
平成20年 与論町教育委員長に就任
平成27年 与論町長に就任
現在2期目

与論町は、昭和38年（1963年）1月
1日に町制を施行し、「与論村」から「与
論町」となり、令和5年（2023年）に
町制施行60周年を迎えました。
今回は、与論町の地域課題の解決につな
がる人材を育成する「与論イノベーション
創出事業」実行委員長の田畑香織さんをお
招きし、山町長と共にこれからの与論町に
ついてむぬがったい（おしゃべり）をして
頂きました。教育という共通の視点を持つ
おふたりの話、ぜひお読みください。

—— お二人とも子どもの頃はどんな
遊びをしていましたか？

田畑さん（以下、田畑） 自然の中で
遊んでましたね。父が毎日海に連れて
行ってくれたんだけど、すごいスバル
タ教育で。ウドノスでバタ足3往復と
かさせられて。姉ちゃんは水泳上手で
褒められるんだけど、私は怒られてば
かりってという記憶がほとんど（笑）

山町長（以下、町長） 僕の子どもの
頃は、遊ぶってことはなかったね。背
中に子どもを括られて、芋ほりの手伝
いに行ったり、海に行く時は釣りだっ
たり、潜ってサザエを獲ったり、おか
ずにするためにね。なんでもかんでも
朝から晩まで食べるもののためにやっ
ていた気がする。結局、何もなかった
わけだから、芋を掘ってきてタムヌを

拾ってきて蒸して。水も汲んできて。

—— 与論町で初めて水道設備ができたのは町制になった翌年の昭和39年です。町長の子どもの頃は水道設備もないですよ。

町長 なんにもなかったね。子どもの頃からすると、こんなに拓けて良くなったなあって思う。

田畑 たしかに。

町長 茶花の店に行ったことなんて滅多になかった。飴を一個買いに行くにも、叶の家から歩くしかない。それに、そんな小遣いもなかったしね。

田畑 昔は道もガタガタでしたよね。この20年くらいで道路が舗装されて、非常に走りやすくなったなって、島に帰ってきて一番衝撃でした。

町長 小学校の頃に初めて、トラックが一台入ってきてね。トラックの後ろをついて走ったのを覚えているよ(笑)



▲小学校の校庭で車をお披露目。子どもたちはみんな校舎から出てきて好奇心いっぱいに車を眺めている。

—— 町長は小学校の先生をされていましたが、先生になろうと思ったきっかけはあったんですか？

町長 「よし、なるぞ」ってこともなかったんだけど親父が教員だったからもう、自然に。ただ、心の中にあっただけで、なんとか島に帰ってきたい。そのために収入のある仕事は教員だったということ。長男だしね。

—— 定年後、島に戻り町長となられ、現在2期目も終盤というところですが、町長選に出馬された当時のお気持ちを教えてくださいませんか？

町長 あの頃、いわゆる増田レポートというのがあって与論町は鹿児島県で一番最初に消滅する可能性が高い自治体だと言われている。「それはいかん、何とかしないと」思った。人口を維持するためには様々な分野での協力が必要で、一人で出来ることではない。だから『町民の英知を結集して』というのを掲げて、知恵を出し合って、みんなと一緒にやっていきたいなという気持ちがありました。

—— 町長になられた頃と比べて、良くなったところはありますか？

町長 予想に反して人口の減少が少なかったことが良かったなと思ってます。予想では4300人だったけれど、5000人をキープしているからね。

それから香織さんのように若い人たちの活気が出てきている。群島会議で他の島に行くたびに、与論島が一番活気があるんじゃないかと感じるし、与論島は頑張ってるよという話をしてくるんだよ(笑)

—— 香織さんは平成30年に与論町に戻られたそうですが、それまではどのような仕事をされていたのですか？

田畑 東京の会社で教育業界の営業職をしていました。具体的には高校生が大学や専門学校を選ぶときに必要な情報をプロデュースするようなことをしていました。

—— なるほど！今、学習塾「まなび島」でもされていることですね。

田畑 2020年(令和2年)に、戦後最大の教育改革が行われると日本中の学校で躍起になっている時に、機会を頂いて与論島で進路講演会をさせてもらったんですが、知らないときまではいかにいけど全然情報が届いてないなという感触があった。与論島はどうやって教育改革をやっていくんだろうかって危機感を感じたんです。ここで自分が出来ることがある、自分にしかできないことがあるなって思って島に帰ってくることを決めました。

—— 子どもの頃から教育の分野に進

みたいという思いがあったのですか？

田畑 子どもの頃はいろんな夢を持っていましたよ。みんなが思うようなこととはひと通り夢見ました(笑)

そんな落ち着かない子どもだったんですけど、大学でアメリカに留学をして、教育格差ってこういうことをいうんだなって体感したんです。「教育が人を変える。人生を変える。社会を変える」これを体感してからは、教育に関わる仕事に就きたいなと強く思ってたのでその仕事をしてきました。

—— 香織さんは子ども達への関わりに留まらず、高齢者の見守り活動や様々な分野で活躍をされていますね。

田畑 期間限定のものもあるとは思いますが、「やろうよ」と言い出したのは自分なので代表を引き受けているというのがありますね(笑)

新しい時代に入ろうとしている中で、今までの役割を引き継ぎながら、それをどう移行させられるかが自分の役目だと思っています。



▲昔の学校での授業風景

—— 与論町は町制60周年を迎えました。60年は人に例えれば還暦、これまで培った知識や経験をもとに、第二の人生の始まりという節目の年です。

ここまでのお話の中で若い人に活気が出ていたとか、新しい時代という言葉が出てきたら、新しい時代という言葉が出てきましたか、これから与論町はどう変わっていくと思いますか？

町長 「まちづくりは人づくり」と、どこの町でも言うんですね。

一から人を作りあげていくという小・中学校の教育も大事なんだけれど、学んできたことを持ち帰って、香織さんみたいに広めてくれる人がいる。そうすると、それを見て「自分もやってみたい」という気持ちが出てくる。今、島にいる大人たちがそういう環境を作ってくれているというのは、とても嬉しいことだと思っています。

田畑 私はタイミングが来ているような気がするんです。自分の人生もそうだけど、きっと大きな流れがあって、成長が加速するタイミングにきているような気がする。

—— 与論町の成長が加速する？

田畑 そう、世代を超えて、課題感が一緒になりつつあるというか。共通認識を持ってきているんじゃないかな、何かが動きそうな予感がします。

—— 課題がありすぎてどうしよう

という状況から変わってきていますか？

田畑 それぞれの分野の若者世代が、「僕たちがやらなきゃ」という課題感を持って、負をプラスにするためには何が出来るかを自分たちで考えて行動している。それぞれで動き出している、そんな風潮が出来ていると思います。

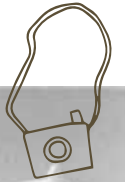
町長 町制20周年の時に町民憲章ができたのだけど、私はあれほどいいものはないと思っています。

与論島は「誠の心」という大事な心があつて、だけどそれは相手を立てて自分は後ろに引込んで、あまり出しゃばらないという側面もあつて、そこは欠点なんだという事で町民憲章の中では「積極性」と「創造性」をしつかりと謳ったわけです。だから足りなのは積極性だったんです。

田畑 「誠の心」も時代によって定義が少しずつ変わっていくとは思いますが、私が小学校の頃はずっと「誠の心、誠の心」と聞いて育ってきました。現教育長もお話の中で「誠の心」とよく言われていますよね。

それは何かといえば、アイデンティティなんです。与論の良さ、強みってというのはアイデンティティがあることですよ。いろんな足りないスキルはあるけれど、人間の核となるアイデンティティは教育されているので、それ

懐かしの与論風景



1963年（町制施行の年）に南島開発K.K. 与論工場が操業開始



サバニ船と漁師たち



かやぶき屋根の住居



1972年地域集団電話が開設



旧Aコープ



1979年与論港が開港



1950~1960年代の有村商店/朝日旅館前

提供：稲見輝男さん



ゆんぬ古写真展事務局より一部写真をご提供頂きました。



町の歴史は与論町HPよりご覧いただけます。「与論町のあゆみ」

を持ちつつ、論理的思考能力とかプレゼンテーション能力とか、今の10年で必要能力をつけていくことが大事。

今後、与論島の人材は世界で必要とされる存在になりえます。

—— 世界で！それはすごいですね。

田畑 私は海洋教育などを通して、中・高校と関わっていますが、与論高校などは特に、日本最先端の教育をやっています。サイエンスキャンプといって東大とコラボして、科学的実験をやって社会にフィードバックする。これをやれている学校はそうそうない。

みなさんは気付いていないと思うけど、与論高校は日本最先端です。島の人たちも含め、日本各地から様々な人たちが巻き込んだ学びが進んでいるんです。「誠の心」を核にしつつ、フィールドが整ってきている。だからこそ、できる。

町長 もう一つ大事なのが「利他の心」と思っています。結局、仁に繋がっていくものだからね。この島には、そういうものがあって良かったなと思う。自分のことばかりではなくて、みんなのことを考えて、みんなが良くなるにはどうしたらいいかを考えられる。

—— それは今後、島に暮らす私たちみんなで町づくりをしていくうえでも大切なことですね。

町長 与論の人は自分が言ったことに対して、相手がどう思うかなって考える。なんでもかんでも自分が言いさえすればいいではなくてね。

田畑 子どもたちもそうなんです。ちゃんと意見を持っているんだけど、すっごく空気を読むので、あとは練習。練習の機会を作ってあげればいいと思います。

子どもたちは賢いので、大人が受け入れてくれるかをよく見えます。受け入れてくれそうな大人には言う。だから多様性を受けいれる器が町民一人ひとりに出来てくれば、みんな自分の意見を言えるようになってくると思うんです。そして、多様性を理解するためには、受け入れる側の知識も必要なんです。

—— 最後の質問です。次の世代へ、どんな未来を残したいと思いますか？

田畑 とても難しいんですけど、自分が望む未来を自分で切り拓く力をつけてあげたい。そのための環境づくりは私たち大人の役目と思っています。

町長 僕はね、与論の島は子や孫から預かっていると思っっている。祖先から受け継いだものであれば、どう使おうと勝手なんだけど、子や孫から預かっていると思うと、少しでも良くしたい。良くして次の世代に渡したいと

いう気持ちで、町政を進めている。少しでも暮らしやすくするために港も作りたいし、あれもしたい、これもしたい。その僕が一番好きなのは町民憲章。町民憲章に謳われているようなことをやっていけば、いいんじゃないかと思っっています。

田畑 そうですね。私も町民憲章をちゃんと復習します！

与論町民憲章

わたくしたち与論町民は、恵まれた自然と祖先の遺訓である「誠」の伝統に誇りを持ち、積極性と創造性を培い、島の永遠の繁栄をめざして、ここに町民憲章を定めます。

- 一 わたくしたちはきまりを守り 平和で生きがいのある町をつくります
- 一 わたくしたちは仕事に喜びを持ち 豊かな住みよい町をつくります
- 一 わたくしたちは進んで心身を鍛え 活力に満ちた明るい町をつくります
- 一 わたくしたちは自然を愛し 花と緑の美しい町をつくります
- 一 わたくしたちは教育に力を注ぎ 風格のある文化の町をつくります

※町民憲章が制定された経緯を確認したところ、一部誤りが判明したため、見直しを行いました。誤・恵まれた美しい自然↓正・恵まれた自然

NEWS



2023年4月23日（日）午後より、町制施行60周年記念イベントを予定しています。「与論島慕情」を歌われた三沢あけみさんのステージや自衛隊音楽部と中高吹奏楽部とのコラボ演奏を予定しております。詳細は週報などでお知らせします。



三沢あけみさん

収録が終わってひと息、和やかに笑顔を見せる町長と香織さん。貴重なお話をありがとうございました。



● **ともしびグループが厚生労働大臣優秀賞を受賞!**



「与論町ともしびグループ」が厚生労働省の主催する「第11回健康寿命を伸ばそう! アワード」の介護予防・高齢者生活支援分野において厚生労働大臣優秀賞を受賞しました。同団体は、毎月1回独居の高齢者宅などを訪問し、声かけや安否確認のほか、相談活動などを32年にわたり続けてきました。高校生から70代までの多様な背景をもつ構成員による創造的な活動や「敬い」文化を大切にする温もりある支援活動は、地域での支え合いが改めて注目される中、高い評価を受けました。

● **かごしまおいしいもの選手権で最優秀賞**



令和4年11月に開催された「かごしまおいしいもの選手権」で与論高校2年生の川畑光麗さんが考案した「ねっとり♥海老芋アイス」がスイーツ部門で最優秀賞を受賞しました。この選手権は、高校生などを対象に、県内で生産された農林水産物を使ったオリジナルレシピを募集するもので、川畑さんは与論産のエビイモ、キビザラ、海塩を使用したアイスクリームを作り高い評価を受けました。受賞作品は県内企業の協力で商品化も検討されるということです。

● **令和5年二十歳のつどい開催!**



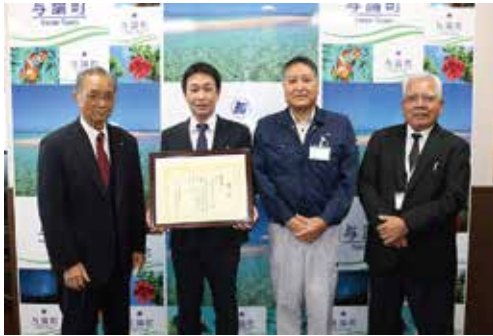
令和5年1月2日、砂美地来館において二十歳のつどい式典(旧称:成人式)が開催され、令和4年度中に二十歳を向かえる54名(男性24名・女性30名)が出席しました。式典では、向井貫太さんによる抱負の発表や竹村穂乃香さんによる代表者あいさつ(池田匡佑さんの代読)が行われました。また、式典終了後は参加者と保護者による近況報告会が行われ、久しぶりの再会に懐かしく楽しいひと時となりました。新たな門出を迎えられた皆様の今後の更なる御活躍を祈念いたします。

● **令和4年度栄養関係功労者知事表彰伝達式**



地域における食生活の向上に著しい功績があったとして、沖範子氏への知事表彰伝達式が行われました。沖範子氏は30年以上、町食生活改善推進員(通称食改さん)として地域の食生活改善推進活動に尽力しています。代表的な活動として、島立ちする高校卒業生へバランスの良い食生活の大切さや故郷の味についての講話を行い『Cookingしおり』(島を出て一人暮らしをするあなたへ贈るレシピ集)を作成し配布しています。その他にも23名の食改さんと共に食育推進活動に大きく貢献しています。

● 完熟堆肥「ゆがふう」が優秀賞を受賞！



完熟堆肥「ゆがふう」が、鹿児島県農業環境協会主催「令和4年度鹿児島県堆肥コンクール」の牛ふん部門において、初の快挙となる優秀賞を受賞しました。本コンクールは、化学肥料の使用量の低減や良質堆肥の生産・利用を推進して健全な土づくりに努めることを目標に県内全域を対象とし実施され、授賞式においては、「観察・化学分析評価共にほぼ満点を獲得し優良である」との講評を受け、本町の生産する堆肥の高い品質性が評価されました。今後優良な堆肥生産・供給に取り組んでまいります。

● 第3回「ヨロン海洋教育フェア」開催！



与論町の小・中・高等学校では、島だち後にも生きて働く学びの姿勢やこれからの時代に求められる表現力・思考力を身に付けるために「海洋教育」に取り組んでいます。今年度もその成果発表会を砂美地来館で開催し、子どもたちが与論のよさや課題について探究したことを発信しました。3回目の開催となる今回は、初めて一般参加者の来場を募ったところ、140名を超える町民の皆様にお集まりいただきました。参加者アンケートも非常に高い評価をいただきました。

住みいるプロジェクト活動日記 (Vol.01)

～第1号がじゅまるハウス誕生～

12月～1月にかけて、所有者から承諾のあった空き家の伐採、家具等の撤去作業を行いました。屋根がガジュマルで覆われていたので「がじゅまるハウス」と名前をつけました。物件に名前をつけると愛着がわきます♡
空き家年齢が高めの物件だったので、作業はとて大変で全身筋肉痛になりました…。人間の体と同じで、空き家も**早期発見・早期治療**が大事ですね！
伐採作業に自主的にご参加いただいたり、「島のために頑張って！」と声をかけてくださったり…地域の方々の優しさが私達の励みになります。これからも応援よろしくをお願いします。



作業へGo！



before



after

この物件は3月後半に入居者募集を開始する予定です。第1次募集は与論島内在住者限定、決まらなかった場合は第2次募集として島外の方向けに募集を行います。
※ご自身で修繕等を行う物件です。

住みいるプロジェクトは官民一体となって住宅不足問題の解消に向け活動しています。

空き家、活用してみませんか？

お問い合わせ：総務企画課 (97-3111) ・建設課 (97-4928)



SMILEPJ46N

インスタはじめました！

ひとりで悩んでいませんか？

3月は自殺予防強化月間です

自殺対策基本法では、例年月別自殺者の多い3月を「自殺対策強化月間」と定めています。

令和4年の死亡者数

警察庁の自殺統計（速報値）に基づく厚生労働省のまとめによると、令和4年の自殺による死亡者は全国で2万1584人と発表されました。鹿児島県においても約300人の方々が自ら命を絶っています。

ひとりで抱え込まないで。



なぜ3月なの？

年度末の3月は、仕事やプライベートにおいても変化が多く、また寒暖差などで体調を崩しやすい時期です。新しい環境を前に不安や悩みを抱えている方も多いのではないのでしょうか？

就学や就職（昇進）など期待に満ちた変化であっても前向きになれない、不安でたまらないということもあります。



対策連絡会が行われました

昨年12月、与論町で自殺対策・自殺未遂者支援連携体制事業に係る連絡会が行われました。役場職員、福祉協議会や医療関係者、警察・消防、教職員など20名以上が参加し、与論町の現状や課題について話し合いがされました。その中で上がった意見や感想の一部を紹介します。

【与論町の課題は何？】

● 相談する場所が分からない。町内では知っている人が多いからこそ相談しづらい。
● 助けが必要、と思う人がいるけれど何て声を掛けていいか分からない↓知識がない。

【今後、必要と思うことは？】

● 情報発信をするとともに、町内でも相談窓口を増やす。
● 「ゲートキーパー」を増やす。そのために養成講座を行い、理解を深める。

こんな不調や悩みを感じたら相談してください。

- ① 眠れない
- ② 怒りっぽくなった
- ③ 口数が減った
- ④ 食欲がない
- ⑤ 不安に感じる
- ⑥ ひきこもりがち

相談窓口は、次頁「保健センターだより」をご覧ください

今、つらい。
悩んでいる人へ伝えたい言葉は何ですか？

眠れないだけでも医療機関を受診して欲しい。

「助けて」と声に出して言ってほしい。
子どもたちもSOSを出して。

LINEチャットなど気軽な相談窓口もあるので、
とにかく話しやすい人を見つけて話してみてください。



※ゲートキーパー…自殺の危険を示すサインに気付き、適切な対応を図ることができる人のこと

令和5年度集団健(検)診予定について



第15回

保健センターだより

健(検)診	内容	通知対象	日程	場所
肺がん検診	胸部177線検査	40~90歳	5/18~5/20	各自治公民館等
女性検診	乳がん検診	マンモグラフィ検査 40~74歳女性	6/5~6/7	防災センター(6月)
	子宮頸がん検診	併用検査(細胞診・HPV) 20~74歳女性	6/5~6/7	
	骨粗しょう症検査	足の踵(かかと)部の超音波検査 40・45・50・55・60・65・70歳の女性、男性の希望者	R6.1月にも実施予定	
基本健診	特定健診	問診・尿検査 40~74歳 国保の方	7/16~7/20	砂美地来館
	長寿健診	身体計測・腹囲測定 75歳以上の希望者		
	若年健診	血液検査・心電図検査等 20~39歳 国保の方		
胃がん検診	胃部177線検査(バリウム使用)	40~74歳の希望者	7/16~7/20	砂美地来館
大腸がん検診	便潜血反応検査	40歳以上の希望者	10/4~10/6	
オプション検査	腹部177線検査(超音波検査) ・頸動脈177線検査(超音波検査) ・前立腺がん検査(血液検査) ・肝炎検査(血液検査) ・心不全リスク検査(血液検査) ※要基本健診受診 ・胃がんリスク検査(血液検査) ・肺がんCT検査(低線量CT検査) ・歯科検診(歯周病検査)	40歳以上の希望者		

令和5年度の集団健(検)診の予定は左のとおりです。

年に1回の健(検)診は、日本人の死因の多くを占めるがん、心臓病、脳血管疾患などの原因といわれる生活習慣病や病気の芽を早期に発見し、治療につなげることができます。

また、健(検)診の結果から身体の状態を知り、日頃の生活習慣を見直し改善することで病気の予防や健康づくりに役立てることができます。

年に1回のチャンスです！
健(検)診を受診しましょう！

健(検)診Q&A



病気が見つかるから、受けなくていい？

健(検)診を受けて何か病気が見つかるのが怖いから、との理由で受診をためらっている人がいますが、生活習慣病の多くは、早期に発見できれば治療することが十分可能です。かつては「不治の病」と考えられていたがんも、初期(ステージI)に発見できれば、部位によっては、ほぼ100%の完治が望めます。



健康には自信があります。具合が悪くなったら、病院を受診すればいいでしょ？

がんをはじめ、生活習慣病の多くは初期には自覚症状がありません。血圧や血糖値などが高くても、特に痛みや異常を感じないことがほとんどです。自覚症状が現れたときには、かなり深刻な事態まで進行しているため、健康に自信がある人でも、きちんと健(検)診を受けることが大切です。

集団接種会場



与論町の新型コロナワクチンの接種状況は？

R4.11月より砂美地来(批) 館で実施しておりましたコロナワクチン集団接種(オミクロン株対応)は、1月29日で終了しました。

与論町の12歳以上に対するオミクロン対応株ワクチンの接種率は『53%』(R5.1.30時点)となっております。

ワクチン接種で重症化や入院を予防する効果が期待されますが、100%発症予防できるというわけではありません。引き続き、感染予防対策は継続していただきますようお願いいたします。

ひとりで悩んでいませんか？ ~相談窓口のご案内~

誰もいろいろなストレスを抱えているものです。「このくらいなら大丈夫」と思っている、ストレスが長く続いたり、いくつものストレスが重なり合うところの病気を発症し、仕事や生活に支障をきたしてしまいます。ひとりで悩まずに、早めに相談しましょう。

あなた自身のためにも、そしてあなたの大切な人のためにも。

- 与論町保健センター(97-5561)
- 徳之島保健所(0997-82-0149)
- よりそいホットライン(0120-279-338)
- 24時間こどもSOSダイヤル(0120-0-78310)
- こころの健康相談統一ダイヤル(0570-064-556)
- NPO法人 ネットが 以鹿児島
- LINE ID「meyasubako」で検索可能です
- こころのほっとチャット LINE ID「kokorohotchat」もしくは右のQRコードより



お問合せ先

与論町保健センター TEL: 97-5105 FAX: 97-5110

令和4年度一般コミュニティ助成事業の報告



一般財団法人 自治総合センターは宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源とするコミュニティ助成事業を実施しています。

この事業を活用して、朝戸自治公民館と叶自治公民館は下記備品を宝くじの助成金で整備しました。

朝戸自治公民館



天井吊り下げエアコン



粉碎機 (マルチチッパー)

- ・天井スクリーン
- ・LED パーライト
- ・ホワイトボード
- ・ハンマードリル
- ・インパクトドライバー
- ・グラインダ
- ・カラーレーザー複合機
- ・イス用台車
- ・折りたたみ式リヤカー
- ・集塵機

総事業費 2,539,849 円 助成額 2,300,000 円

叶自治公民館



かき氷機



ワイヤレスマイクセット

- ・テント
- ・プロジェクト
- ・50 型液晶テレビ
- ・工場扇
- ・イス用台車
- ・自走草刈り機
- ・チェンソー
- ・わたがし機
- ・保管庫
- ・スクリーン

総事業費 2,102,056 円 助成額 2,100,000 円

ふるさと納税係からのお知らせ

与論町を応援しませんか

生まれた故郷に恩返しをしたい。与論町を応援したい。そんな方へ。与論町のふるさと納税制度を利用しませんか。
ソデイカ、マンゴー、牛肉など約 300 種類の返礼品がございます。

【与論町への寄付はこちらから】



ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税



ソデイカ



マンゴー



ふるなび



さとふる



与論牛ステーキ



あーどうる焼



【お問合せ先】 TEL : 0997-97-3111 FAX : 0997-97-4196

総務企画課 ふるさと納税係 (与論町役場2F)



はじめまして！ ゆんぬんちゅです

赤ちゃんを紹介するコーナーです。
あなたの赤ちゃんもデビューしませんか？
ご応募お待ちしております！



まつむら みゆ めい
松村 心結さん・明結さん (令和4年10月5日生)

両親：松村 勇也・夏海 (叶)
ヤーナー：ウシ (心結)・クル (明結)
ひとこと：たくさん食べてたくさん笑って
元気いっぱい大きくなーれ！



のぐち こうたろう
野口 航太郎さん (令和3年12月20日生)

両親：野口 亮太・直子 (立長)
ヤーナー：マサ
ひとこと：生まれて来てくれてありがとう！

戸籍の窓

令和4年11月～令和5年1月

※掲載許諾を頂いた方のみ、
掲載しています (敬称略)

いつまでもお幸せに

(氏名・集落)

◆9月届出分 (※前号未掲載分)

光 翔史 立長
浅川 あかり 東京都

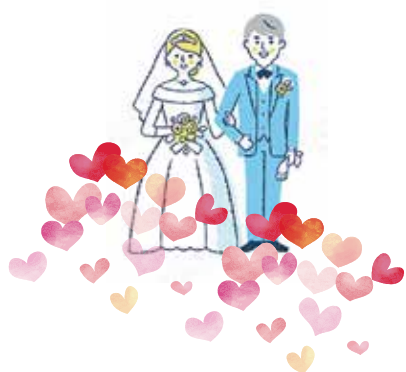
◆12月届出分

本 嵩史 朝戸
矢鳥 友恵 大阪府

◆1月届出分

原田 涼平 東区
青木 由梨香 茶花

Congratulations!



お誕生おめでとうございます

(氏名・保護者・集落)

◆11月届出分

浦口 美玲 望 那間
岸谷 ポピー心愛 茶花

◆12月届出分

池田 笑毬 一樹 那間
田島 颯人 英暁 茶花

◆1月届出分

山野 陽風 ひなき 隆治 茶花
沖 心陽 むねはる 道成 朝戸
長蘭 歆汰 かんた 誠 西区

「はじめまして！ゆんぬんちゅです」 応募方法



【応募対象】与論町在住の生後12カ月までの赤ちゃん
【応募方法・お問合せ】
①メールの場合 宛先：sy-kouhou@yoron.jp
『件名：はじめまして！ゆんぬんちゅですへの応募』
赤ちゃんの写真(1枚)、名前、性別、生年月日、
両親の名前、ヤーナー、ひとことを添えてご応募下さい。
②電話の場合 0997-97-3111 (総務企画課)
③総務企画課窓口 (役場2階) ◆担当：西まで

ご冥福をお祈りします

(氏名・享年・集落)

◆11月届出分

喜村 ハナ 95歳 立長
大原 タツエ 87歳 那間

◆12月届出分

酒勺 重宣 80歳 西区
土持 良子 92歳 城

◆1月届出分

町 福助 93歳 茶花
大馬 富秀 94歳 朝戸
藤田 春子 94歳 東区
宇佐美 若雄 69歳 城
内田 キク 99歳 古里
川畑 ハツエ 97歳 朝戸
岩村 ウト 104歳 立長



与論 よろん

2023年3月 NO.325

編集・発行 / 与論町総務企画課

<https://www.yoron.jp>

〒891-9301 鹿児島県大島郡与論町茶花1418-1

☎ 0997-97-3111(代表) FAX:0997-97-4196

✉ sy-kouhou@yoron.jp



与論島のPR電車「ヨロン号」が首都圏各地を走りました！

首都圏の方々にもヨロン島の魅力に触れてもらい、産業需要の喚起により島を元気にすることを目的として、神奈川~東京~千葉各地を走る京浜急行ブルースカイトレイン 600形 8輛の車体・車内全てに広告を掲載し、ヨロン島のPRを行いました。運行当日のイベントや実際の走行中の模様をお伝えします。



川畑アキラさんが
テーマソングを
制作してくれました！



運行記念レセプションの様子



与論出身 入来武久さんのご息息・
入来健武さん（新極真会 東京城南
川崎支部・第11回全世界空手道選
手権大会準優勝）による瓦割りや
バット折りを見せて頂きました。



車体・車内広告



※「ヨロン号」は地方創生臨時交付金を活用しています